

世田谷

ファミサポ通信

世田谷区ファミリーサポートセンター

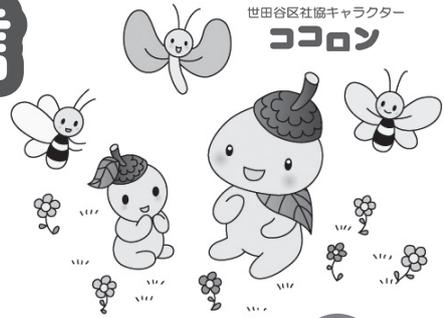
開所時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（土日祝日、年末年始を除く）

〒157-0066 世田谷区成城 6-3-10 4 階

電話：03-5429-1200 FAX：03-5429-1202

ホームページ：<https://www.setagayashakyo.or.jp/>

世田谷区ファミリー・サポート・センター事業は、世田谷区から世田谷区社会福祉協議会が受託運営しています。



世田谷区社協キャラクター
ココロン
第 11 号

平成31年2月

『ヒヤリ・ハット』の事例から学ぶ、安全・安心な活動！

昨年度も「ヒヤリ・ハット」について取り上げましたが、今年度に引き続き報告が挙がってきている中で、多く見られる事例を取り上げました。是非、ご参照下さい。

ヒヤリハット

とは…



重大な事故には発展しなかったものの、「ヒヤリ」としたり、「ハッ」としたりするような出来事のこと。防止対策を共有することによって、より大きな事故の発生を防ぎ、全員の安全意識を高めることにつながると言われます。

事例 1

室内での見守り中に、子どもがサインペンなどの棒状の物を握ったまま歩こうとするのでヒヤリとした。

→小さな子どもは、上手に歩くことが難しく、少しのことで簡単に転倒してしまいます。その際、手に何かを握ったまま転倒すると、その物が原因となってケガをする恐れがあります。

そのため、子どもの目線で周囲を良く確認し、手の届くところにある物は文房具のように日常に慣れ親しんだ物でも一時的に片付けることが大切です。

事例 2

徒歩での送迎中に、子どもがつかない手を振りほどいて、走り出してしまった。急いで声をかけたら止まってくれたが、ヒヤリとした。

→子どもの興味・関心は強いものにまっすぐ向い、咄嗟に行動してしまう場合があります。

しかし、その先には危険が潜んでいるかもしれませんので、歩行中はしっかり手をつなぐことを、必要に応じて保護者の協力も得ながら、子どもにあらかじめ伝えるようにしましょう。また、手をつないだら褒めてあげるなど、子どもが楽しくなるような声掛けも有効です。

事例 3

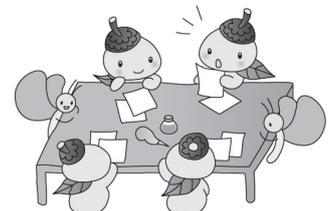
徒歩での送迎中に、子どもが後ろから来た自転車と接触しそうになりハットとした。

→自転車は音があまりしないので、歩行中に気がつくのが遅れ、ハットとすることがあります。また、自分たちが注意していても子どもの動きを予測しきれない運転者や交通弱者への配慮が足りない運転者もいます。

そこで、時々、後ろを振り返り、見通しの悪い交差点は一時停止をするなど、積極的に自転車の通行を確認して、身の安全を図りましょう。

全ての事例から

子どもから目を離さないことが重要です。



会員交流会を開催しました!

【烏山・砧地域】

「ふぁ・み・さ・ぽ♪ファミリーコンサート♪」

9月23日(日)に砧総合支所成城ホールで「ふぁ・み・さ・ぽ♪ファミリーコンサート♪」を開催し、利用会員さんとそのお子さんや援助会員さんなど116名の皆さんが来場されました。当日は、メディアに出演歴のある柳光絵さんと鈴木裕人さんを迎え、ポップスからバラードまで、ソロとデュエットで大人の歌をその美声で歌い上げていただきました。



また、小さなお子さんは、最初は声量に少々びっくりしていましたが、「森のくまさん」などおなじみの歌が流れると、一緒に大きな声で歌ってくれました。

さらに、途中には柳さんのボイストレーニング企画もあり、上手く歌うコツを聞いた後に、会場全員で「花は咲く」を楽しく大合唱。皆が自然に笑顔になる素敵な時間を過ごしました。



【玉川地域】「イヤイヤ期の子どもへの声掛け法」

12月15日(土)に玉川区民会館集会室で、一般社団法人乳幼児子育てサポート協会代表の行本充子氏を講師に招き「イヤイヤ期の子どもへの声掛け法」講座を開催しました。

大人が子どもに寄り添い、丁寧な声掛けをすることで、子どもは自分の気持ちを伝えられるようになり、「いやっ!」という意思表示が減ることを理解しました。

当日は、9名の利用会員さんと11名の援助会員さんが参加し、一緒に学ぶ貴重な機会となりました。ここで学んだ知識がそれぞれの活動で活かされ、会員同士の関係が深まると素敵ですね。



援助会員フォローアップ研修

事故防止に向けて気の引き締まる時間を体感しました

12月26日(水)に玉川区民会館で安全・安心をテーマとする第4回フォローアップ研修が開催され、子どもの危険回避研究所代表の横矢真理氏から「活動中のヒヤリハット回避～基本を学び、手がたく予防～」をテーマに、事例も交えて分かりやすくお話いただきました。



事故は活動に慣れてきた頃に、隙間を縫うように起こることがあります。事例は実際に起きた事故等なので、不安になる面があったかも知れませんが、なぜ起きてしまったかを知り、正しい対処を学ぶことが安全な活動につながると思います。

センターからのお願い

★利用会員と援助会員のより良い関係づくりに向けて★

【キャンセル料について】

キャンセル料金の支払いについては、忙しくてついつい遅くなってしまったり、なかなか言い出せずそのままになってしまったりすることがあります。

お互いが気持ち良く利用／活動するためには大事なこととなりますので、お互いにキャンセル料金について心掛けると共に、声を掛け合うなどの配慮をお願いいたします。

以下の内容を改めてご確認ください。(会員のしおり4ページ抜粋)

キャンセル、変更について

キャンセルや変更の連絡は、利用会員と援助会員で直接行います

利用予定日前日の17時までのキャンセル	キャンセル料金無し
利用予定日前日の17時以降 ～当日活動時間までのキャンセル	1時間分料金
無断キャンセル	当日予定していた時間帯の全額料金

※援助会員のキャンセルについてはキャンセル料金は発生しません。

なお、援助会員の急なキャンセルで代替りの援助会員をご紹介することはできません。

※キャンセル料金は、1週間以内に援助会員へ支払うようお願いいたします。時間変更はキャンセル料金がかかりません。

※変更(日時・場所・内容など)や取り消し連絡は、予定が決まり次第連絡をしてください。

ただし、利用予定日前日の17時以降の変更については、援助会員の承諾が得られない場合は、キャンセル料金が発生します。

※変更や取り消しは電話で直接その内容を相手に伝えてください。留守番電話への伝言・FAXやメールでの連絡は確実に相手に伝わっているとは限りません。

【感染症について】

体調不良になった際には、周囲に感染する病気に罹患している可能性があります。例えばインフルエンザや風疹、さらには带状疱疹からの水疱瘡なども考えられます。

こうした病気に罹患している状態で、第三者(特に乳幼児、妊婦、高齢者など)と接した場合に、感染して発症させる可能性があります。

自分の体調が「おかしい?」と感じたら、医師の診察を受け、適切な治療を受けましょう。特に感染症の診断が出た場合は、それぞれ自宅待機の期間や予後の配慮が異なりますので、医師より療養の指示を受けるとともに、ファミリーサポートの利用／活動の再開に当たっては確認をお願いいたします。



地域で活躍中!



インタビューをしてきました!

安心してお任せできるので
とても助かっています!

☆ 利用会員 山崎 絵理さん
(お子さん: Kちゃん、4歳)

下の子を出産する際に上の娘を緊急一時保育で預けることになり、保育園の送迎をファミサポにお願いしたところ、紹介されたのが横井さんでした。復職した現在は、週に1回保育園へお迎えに行っていたら、私が帰るまで横井さんのお宅で預かってもらっています。

娘は人見知りなので、最初の頃は緊張していたようですが、今ではすっかり懐いていて、家族のことや休日に何をしていたか等、包み隠さずお話ししているようで、ほほえましく感じています。保育園の先生の話では、横井さんがお迎えの時は、娘はうれしそうにしているそうです。

横井さんは視線を娘に合わせてお話ししてくれるなど、子どもへの接し方が慣れていて、安心して活動をお願いしています。ご近所のいいお付き合いが長く続いていて、とても心強いです。

☆ 援助会員 横井 佳保里さん

とてもシャイなお子さんで、最初は打ち解けてくれなかったのですが、私の名前がKちゃんの近所のおばさまの名前と似ていて、わざと間違えて私のことを呼んでみたりすることがありました。それがおかしくて私が笑うと、うれしらしく、Kちゃんが心を開いてくれたのを感じて、あたたかい気持ちになりました。一つ一つのエピソード(出来事)が重なって、徐々に仲良くなっていきました。

大事なお子さんをお預かりしていて、何かあっては大変なので、テーブルの角にクッション材を貼ったり、保育に関係ないものを片付けたり、安全面に十分気をつけています。

お母様とは、Kちゃんを引き取りにいらっしゃる時に活動中あったこととお話ししています。お仕事をされてお忙しいのに、とてもやさしくKちゃんに接している姿を見て、お母さんとKちゃんのために活動できることをうれしく思っています。

すごーい!

ひとりで
着れたー♡

